

子実とうもろこし



需要者一覧
(令和6年
12月時点)

飼料生産基盤に立脚した経営を目指し、畜産農家は品質の良い国産飼料を求めています。
皆さん、土づくりや連作障害の低減による後作物の品質向上・収量増加につながる
子実とうもろこしを作付けしませんか。

概要

- ◆ 幅広い畜種でニーズの高い飼料です！
- ◆ 飼料用とうもろこし(テントコーン)を完熟期に収穫します。
- ◆ 子実部分は収穫後、乾燥機で水分を低下させてから保管し、茎葉部分はほ場にすき込みます。



子実とうもろこし



収穫



乾燥



子実

※ 収穫時、子実の水分が高いときは乳酸発酵させ、サイレージ利用する場合があります。

メリット

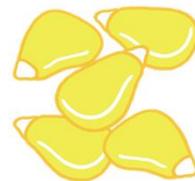
- ◆ 労働生産性が高く、他作物との作業分散や空いているほ場の有効活用が可能です。
- ◆ 茎葉部分を緑肥利用するため、後作の収量改善が期待できます。
- ◆ アタッチメントを交換することにより汎用コンバインによる収穫が可能です。
- ◆ 一定の収入(例:600kg収穫/10a → 24,000円/10a(水田関係の助成を除く))
や堆肥の供給元の確保が期待できます。

栽培のポイント

- ◆ 湿害に弱いため、明渠・暗渠によるほ場の排水対策をしっかりと行います。
- ◆ 栽培中、保管中にカビが発生しないよう管理します。

<子実とうもろこしの栽培暦>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
普通播き	播種						収穫		
遅播き (※遅播きは、普通播き(4月撒き)に比べ 収量が低く、虫害が多いとの報告があります。)			播種		収穫				



こんな **支援** が活用できます!!

Q この地域で子実とうもろこしをつくれるかな。

A 地域のほ場条件、気象条件が生産に適しているのか、
検証することが重要です。

国産濃厚飼料生産の推進 (令和7年度当初)

- ・地域の実情に合わせた生産体系の検討
- ・生産者と利用者のマッチング
- ・収穫後のかび毒検査
などを支援します。

Q 子実とうもろこしを収穫するにはどんな装備が必要なの？

A 所有している汎用型コンバインに専用のアタッチメントを
装着できれば収穫できます。

飼料生産組織の規模拡大等に対する支援 (令和6年度補正)

- ・子実とうもろこし収穫用のアタッチメントなどの
作業機械の導入を支援します。

問い合わせ先

関東農政局 生産部 畜産課

048-740-0027